

校長のたわいもない独り言

# つぶやき

令和2年10月6日(火) 第46号  
発行人

生の栗をもらった。どうやって食べるのこれ?の川崎先生。

●**校長室の窓から外を見ると**、毎回目に入る古い郵便ポスト。ある1年生男子が「なぜあるの?」と聞いてきた。いつもはな～んにも考えない。というのも、楡形地区の小中学校すべてにあるのを知っているから。郵便局から寄贈されたの知ってるから。今回はそこじゃなくて、このポストのように小中学校に共通して「あるもの」ってなんだろう?と気になってしまった訳。

さて、気になったのはいいものの、小中に共通するものってあるんだろうか?そりゃ、当たり前のものは除くよ。校舎とか体育館とか水道とか。

うーん。うーん。うーん。

・その1 音楽室の音楽家の顔の絵。夜行くと一斉にこっちを見る例のやつ。楡中にはないか。昔はあったんだけどなあ・・・。

・その2 理科室の人体模型。夜行くとうっすら笑ってる例のやつ。

・その3 美術室の白い頭部の彫刻。誰かがいたずらして鼻とか黒くする例のやつ。

・その4 学校の位置を示す経緯度標。結構狂ってる例のやつ。ネットで学校の位置を調べると全然違う場所を指したりする。

・その5 もうかんべんしてください。思いつきません<m(\_)\_m>

◆**フラッと校舎内を巡ると**、各学年の授業の雰囲気異なることに気付く。3年生の張りつめた空気感がすごい。課題に向かう姿勢が真剣そのもの。受験に向かうってこういうことなのか。この日の3年5組の数学の授業では、教室と廊下で分かれて課題に取り組んでいた。教室では小林tが、廊下では島田tが寄り添う。その廊下組の生徒たち、仲間と学び合いながら課題と向き合っている。一目で伝わる真剣オーラ。

2年生は雰囲気が柔らかい。まだ授業を楽しんで受けている感じ。2組で行われていたチラシ作りもとても楽しい。消費者に買ってもらうための魅力的な文字が並び。〇〇シューズ、今だけ大特価半額!!とかね。日本人の好きな言葉「特別、期間限定、今だけ」。いいねえ、川崎思わず買っちゃうよ。

1年生はもっと柔らかい。授業中もいろんな声が意見が飛び交う。授業中でも普通にあいさつしてくれるし、笑顔で会釈してくれる(^)。でも、わかることって楽しいこと。授業中にその楽しさを感じているんなら、これは素晴らしいことだと思う。

少しずつ変化していく雰囲気に、3年間の積み重ねを感じる。

◆**数日前にメガネを変えた**。きっとそれに気付いた人はいないだろうけど、この2年間で3本目のメガネだ。なぜそうなったかという、使っているうちにフレームの塗装が剥げてきたから。2年前に新調したメガネだが、使って7か月で塗装が剥げてきた。メガネ屋さんへ行くと「新品と交換します」とのこと。なんとなくラッキーと思い、全く同じメガネにもらった。しばらくは快適に使っていたが、8か月ほどしたら、なんとまた同じようなところの塗装が剥げだした。またメガネ屋さん「新品と交換します」。で、今のメガネ。今回は同じ型で色ちがいにしてみた。なんか得したようでちょっとうれしい。このまま、また塗装が剥がれたら新品。これを繰り返せばずっとメガネ買わなくても済んじゃう。なんか罪の意識が・・・。あ、レンズはそのまま使いまわしですよ。